

国際シンポジウム

中国北朝後期から隋唐期の山東仏教石刻と東アジア（Ⅱ）

（5月15日の第54回国際東方学者会議 SymposiumⅢの2日目企画）

日時 2009年5月16日（土） 10時－16時

場所 明治大学博物館教室(明治大学駿河台校舎 アカデミーコモン地下一階)

(JRお茶の水駅徒歩3分、地下鉄神保町駅徒歩8分)

報告者

10：00－10：30

氣賀澤保規（明治大学）：山東仏教石刻と末法思想——趣旨説明に代えて

10：30－11：20

Wenzel, Claudia(ドイツ・ハイデルベルク大学)：

山東摩崖刻經とその譯本・版本、および英譯本について

On text versions carved on rocks in Shandong, their translations and editions, and the translated English version.

通訳：羅翠恂（早稲田大学）

11：20－12：00

長岡龍作（東北大学）：隋仁寿舍利塔と青州勝福寺址

12：00－13：00 昼食

13：00－13：40

北島信一（書法史研究家）：

僧安道一の石經事業に見る「儒教の招魂儀礼」と「仏教の盂蘭盆会」
—鄒魯地区石經に見られる相対的傾向—

13：40－14：30

頼非（山東石刻芸術博物館）：山東近年発見の仏教石刻とその意義（仮題）

通訳：高瀬奈津子（札幌大学）

14：30－14：45 休憩

14：45－16：00 総合討論

コメンテーター・司会 肥田路美(早稲田大学)：

山東仏教石刻をどう捉えるか

終了後、明治大学博物館特別展示室の「東アジア・海のシルクロードと“福建”」特別展の陳列品をめぐるギャラリートーク（自由参加・入場無料）

全体終了後、頼非、Wenzelの両先生を囲む気楽な懇親会を予定しています。

世話人 氣賀澤 保規（明治大学文学部）

連絡先 101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学東アジア石刻文物研究所

電話：03-3296-4491 Email：ishiken@kisc.meiji.ac.jp